

(2) 看護学類

看護学

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
HC10101	化学	1	1.0	1	春AB	金5	4A203	藤 栄治, 上妻 行則, 山内 一由, 吉田 文代	化学の基礎的な考え方や知識を整理し、専門分野における生化学、栄養学等関連科目理解の基礎とする。	HE10001と同一。 HE10001と同一。
HC11101	生物学	1	1.0	1	春AB	木2	共同利用棟 B202	松田 学	生命進化の歴史を振り返りながら、生物の基本単位である細胞のつくり、および、多細胞生物としてのヒトのシステムデザインについて概説する。ヒトを中心とした多様な生命現象について理解を深めることを通して、分子生物学、発生学、遺伝学、生理学、免疫学等の基礎を習得する。	HE11001と同一。
HC12101	物理学	1	1.0	1	春AB	金4	4B116	安岡 聖	身近な物理現象の理解を深めるために、力と運動、仕事とエネルギー、電気と磁気、物質の構造、放射線、温度と熱、音と光、などの基礎的概念と、一部の関連する現代物理の概要を習得する。	HE12001と同一。
HC20001	人間関係論	1	1.0	1	春AB	火5	4B209	徳田 克己, 水野 智美, 山下 美智代	人間関係の意義、社会的相互作用、コミュニケーション論など、人間関係に関する基礎理論を学び、さらに、看護における人間関係について理解を深める。	看護学類学生に限る
HC20011	カウンセリング論	1	2.0	2		集中		橋本 佐由理	対人援助技術であるコーチングやカウンセリングの理論、基本姿勢や技法を学ぶ。また、自己洞察と自己成長を通してクライアントの成長を促すプロセスに関する理解と技法習得をめざす。	看護学類学生に限る 7/1-7/2, 7/29-7/30
HC20111	臨床心理学	1	1.0	2	春AB	火1	4B209	徳田克己 水野智美 非常勤講師	乳児期から老年期までの心理的発達過程で、出現しやすい発達課題や問題行動を理解する。	看護学類学生に限る
HC20121	行動科学	1	1.0	1	春C	金3,4	4B214	山海 知子	行動変容を促す健康行動理論とその基盤となる行動科学を学び、保健医療現場での応用を考える。	
HC21021	人体の代謝と栄養	1	2.0	1	秋A	月4,5 水3,4	4B214	松田 学	生命物質の化学的知識を習得した上で、栄養素(糖質、脂質、蛋白質、ビタミン、ミネラル)の代謝過程(消化・吸収、同化・異化、排泄)を学ぶ。代謝異常にもふれながら、正常な代謝過程を中心に教授する。	
HC21031	臨床薬理学	1	1.0	2	秋C	木1,2	共同利用棟 B202	本間 真人	種々の疾患の治療、予防に用いられる医薬品の基礎的および臨床薬理学的知識、また、それら医薬品の取り扱い方法について学ぶ。さらには看護活動を展開するうえで必要となる人体への薬理作用を中心に考察する能力を身につける。	看護学類学生に限る。 「疾病の成り立ちと回復の促進 薬理学」植松俊彦メジカルフレンド社を教科書として使用。
HC21051	感染と免疫	1	2.0	1	秋BC	木3,4	4B209	升 秀夫	医療現場だけでなく、一般的にも新興再興感染症が広く関心をもたれるなか、感染症を起こす病原微生物はどのようなものであり、どのようにして疾病を起こすのか、そしてどのように取り扱えばいいかについて学習し、医療に携わる者として人の感染と免疫機構を正しく理解する。	
HC21101	人体の構造と機能I	1	1.0	1	春AB	月4	共同利用棟 B202	志賀 隆	人体を構成する細胞、組織、器官の構造と機能について学ぶとともに、病気や異常が起こるメカニズムを理解するための基礎知識を得る。「I」では細胞の構造、組織の種類、運動器としての骨格系の構造と機能について学ぶ。	看護学類学生に限る
HC21102	機能形態学演習	2	1.0	2	春C秋A	金5,6	4B209	志賀 隆, 増田 知之	「人体の機能と構造I、II、III」で習得した知識を骨格標本、臓器標本などを直接観察することによって、確かなものとし、同時に、科学的観察力を習得する。前半でグループ別に演習課題を解き、後半に人体各部の構造と機能を統合して考察する能力を養う。	看護学類学生に限る
HC21112	食物・栄養学演習	2	1.0	1	秋BC	月4,5	共同利用棟 B202	柴山 大賀, 松田 学, 阿部 吉樹	食品に含まれる栄養素が生体にどのような影響を及ぼすかを学び、健康を維持するための食生活の基本を理解する。また食事調査、栄養計算、献立作成などの演習を通して、生活習慣病と食生活の関係について考察する。	看護学類学生に限る
HC21141	臨床病態学	1	1.0	2	春A	火4,5	4B214	日高 紀久江, 浅野 美礼, 萩野谷 浩美	疾患によって引き起こされる障害を系統的な生体機能障害として捉え、そこに発現する症状や徴候の病態生理について学習する。	
HC21151	遺伝と健康	1	1.0	2	秋C	火1,2	4B115	野口 恵美子	ヒトや微生物の染色体の全ゲノムの配列が明らかになりつつあり、今後これらを利用した医療技術の急速な進展が予想される。そこで、その基本となる組み替えDNA技術の基礎を教授し、病原体の検出法や疾病の遺伝子診断技術、染色体検査について解説する。	平成27年度以降入学者用。HC21131と同一。 HE32051と同一。
HC21201	人体の構造と機能II	1	2.0	1	春C秋A	木3,4	共同利用棟 B202	志賀 隆, 櫻井武	「II」では、前半に筋系と内分泌系の構造と機能、後半に神経系と感覚系の構造と機能について学ぶ。	看護学類学生に限る
HC21301	人体の構造と機能III	1	2.0	1	秋BC	水3,4	4B209	志賀 隆, 櫻井武	「III」では循環系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系の構造と機能について学ぶ。	看護学類学生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
HC22001	人間環境論	1	2.0	1	春AB	月5.6	共同利用棟 B202	森 千鶴, 水野 智美, 升 秀夫	人間と人間を取りまく環境との関わりについて、とくに健康生活の観点から理論的背景を概説すると共に、具体的な実例をあげながら、その現状や歴史的な変遷を学ぶ。内容は、大気汚染や騒音、振動などの公害問題や地球環境問題から、衣食住などの日常的な健康生活活動を取りまく生活環境や社会環境に関わる話題を取り上げる。	看護学類学生に限る
HC22021	疫学	1	2.0	2	春AB	金4.5	4B214	山海 知子, トゴバ タラ ガンテメゲ	統計学の手法を用い、集団を対象とした学問である疫学の方法論を学び、保健医療現場での実際の研究についても紹介する。	看護学類学生に限る
HC22072	環境保健学演習	2	1.0	2	春C	月4.5 火3.4	4B209	森 千鶴, 水野 智美, 升 秀夫	人間の健康生活に関わる物理・化学的環境, 生物学的環境および人的・社会的環境のアセスメント方法や評価手法について、演習を通して学び、環境を客観的に捉え判断できる力を養う。	看護学類学生に限る
HC22081	保健統計学	1	2.0	1	秋BC	金1.2	4B209	山海 知子	保健統計資料の見方を学び、自ら、保健医療の現場や研究で得られるデータを解釈する上で必要な統計学の基礎知識を身につける。	
HC22101	医療経済学	1	1.0	3	春C	木1.2	4B209	近藤 正英	医療サービスの経済学的特殊性およびわが国をはじめ、諸外国の医療制度、医療財源、医療費などの現状と今後の展望について学ぶ。	HE22121と同一。
HC22111	人間工学	1	1.0	1	秋BC	火6	4B209	森 千鶴, 水野 智美	人間工学は、人間の特性を踏まえたものづくりを追求する学問である。この講義では、人間の日常生活に目を向けて、人間の生活行動や姿勢、ボディメカニクスなどの学習を通じて身近な道具に対する人間工学的な視点を学ぶ。	
HC22141	子ども支援学	1	1.0	1・2	秋A	集中		徳田 克己, 水野 智美	子どもを取り巻く物理的な環境および社会環境の実態を解説し、子どもが健全な発達をしていくためには何が必要であるのか、また教育、福祉、医療などがどのように連携していけばよいかについて講述する。	看護学類学生に限る 西暦偶数年度開講 2017年度開講なし
HC22151	障害理解	1	1.0	2	秋B	火3.4	4B214	水野 智美, 徳田 克己, 非常勤講師	身体障害児・者と知的障害児・者の概要及び福祉制度について講述する。また、障害理解、障害者文化、バリアフリーなどについての内外の実際と制度について解説する。	看護学類学生に限る
HC22211	家族社会学	1	2.0	1	秋C	集中		樽川 典子	家族は、その発見以来、つねに変化、変動、変容するものとして観察され論じられてきた。授業では、家族変動の代表的な理論を整理し、現代家族の性格について考察する。	看護学類学生に限る HC22161, HC22191修得者は履修不可。 1/11, 1/19, 1/26, 2/2, 2/9
HC22231	保健医療福祉行政論Ⅰ	1	1.0	3	春AB	金1	共同利用棟 B202	田宮 菜奈子 他	国民の健康の維持向上を図ることは政府にとって最も重要な政策課題の一つである。このために政府は種々の法律を制定して、これに基づいて様々な施策を実施している。これらの関係法規について、その制定の趣旨や内容に関して、医療関係職種としての基礎的な知識を得ることを目的とする。	医療科学類との合同科目 HE22011と同一。
HC22241	保健医療福祉行政論Ⅱ	1	1.0	3	春季休業中	集中		田宮 菜奈子 他	保健医療福祉行政論Ⅰの知識をもとに、看護職との関わりを学び、日々変化する行政の問題を理解し、自ら問題点を把握し検討する過程を通じ、自己の職業観確立の基礎をつくる。	2/20-2/21
HC30022	生活援助論演習	2	1.0	1	秋AB	木5.6	4B302	萩野谷 浩美, 非常勤講師	看護ケアの技術習得に繋がる最初の演習科目として、学生自らの生活体験に基づいた思考創発的な日常生活援助課題を計画・演習し、それらの援助内容を「看護技術を支える態度と行為」を介し、看護ケアとして生活援助のあり方を学ぶ。	看護学類学生に限る
HC30071	看護生命倫理	1	1.0	1	秋BC	木2	4B209	森 千鶴	現代社会では、生命科学や医療の進歩により人間の生存にかかわる多くの問題が生じている。これらの問題は生命科学・医療・法律・倫理・哲学などの多くの側面から検討することが必要である。本講義は、これらの諸問題に関して、看護学の視点から論じ、看護実践の場でどのように活かすか理解を深める。	看護学類学生に限る
HC30081	看護と安全管理	1	1.0	3	通年	随時		安梅勅江 三木明子 他	施設および地域において、効果的・効率的看護サービスを提供するための看護職の役割について学び、質の高い看護サービスを提供するために必要とされる看護管理の基礎的知識や安全管理のあり方などの理論を学ぶ。	平成23年度以前入学者用
HC30091	基礎看護学概論	1	1.5	1	春AB 春C	木3 木2	共同利用棟 B202	日高 紀久江	看護を学ぶ第一歩として、看護の基本概念である「人間」・「健康」・「環境」・「看護」の4概念と、その関係について学ぶと共に、看護の歴史的な変遷や社会における看護の役割や機能についても理解し、自らの看護観を構築していくための手がかりとする。また、現代の看護学を支えた代表的な理論について学ぶ。	
HC30103	基礎看護学実習Ⅰ(看護過程実習)	3	1.0	2	春季休業中	集中		日高 紀久江, 浅野 美礼, 萩野谷 浩美	学内演習で学んだことを実際の場面で実施・展開する。受け持ち患者やその家族に対する看護を通して個別性に応じた臨床看護活動の実践を学ぶ。また、保健医療チームにおける看護の役割、医療従事者としての倫理についての姿勢や態度を学習する。	看護学類学生に限る 2/19-3/2
HC30111	感染対策看護論	1	1.0	1	秋BC	火5	4B209	浅野 美礼	地域および施設内における感染の問題とその予防対策について、多視的・科学的に論ずる。さらに感染予防に関わる新しい看護の役割と責任について学ぶ。	HC30101修得者は履修不可

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
HC30113	基礎看護学実習II(基礎看護技術実習)	3	2.0	2	夏季休業中	集中		浅野 美礼, 日高 紀久江, 萩野谷 浩美	学内演習で学んだことを実際の場面で実施・展開する。病院においてどんな看護技術がどのように提供されているか学び、臨床実践を行うのに必要な知識、技術、態度を統合し、臨床における看護技術実践を学ぶ。	看護学類学生に限る
HC30121	基本看護技術	1	1.5	2	春ABC	木2	4B302	日高 紀久江, 浅野 美礼, 萩野谷 浩美	看護基本技術の技術要素とその概念を示しながら、あらゆる健康レベルの対象に対して、看護活動の展開に必要な看護援助の基本的な知識・技術・態度を統合していくための理論的・実証的な手段を学ぶ。	HC30031修得者は履修不可
HC30122	基本看護技術演習	2	3.0	2	春ABC	木3-6	4B302	浅野 美礼, 日高 紀久江, 萩野谷 浩美	日常生活援助に関わる基本看護技術である、1環境の整備、2食事の援助、3排泄援助、4活動・休息の援助、5清潔衣生活の援助を中心に、その基本的技術(basic skills)を演習によって習得する。また共通技術項目として、スタンダードプリコーション(手洗い、カウンテクニックなど)、活動・移乗動作、体位変換など、バイタルサインズなどの技術を学ぶ。さらにこれらの技術習得過程において、基本看護技術Iで学んだことに教育的に介入し、実践と研究的態度の有機的統合を果たすための技法をも身につける。	HC30042修得者は履修不可
HC30131	看護生命倫理	1	1.0	3	秋BC	随時		森 千鶴	現代社会では、生命科学や医療の進歩により人間の生存にかかわる多くの問題が生じている。これらの問題は生命科学・医療・法律・倫理・哲学などの多くの側面から検討することが必要である。本講義は、これらの諸問題に関して、看護学の視点から論じ、看護実践の場でどのように活かすか理解を深める。	看護学類編入学生に限る。HC30071を修得した者は履修不可。
HC30132	フィジカルアセスメント	2	2.0	2	秋BC	金3-6	4B214, 4B302	日高 紀久江, 浅野 美礼, 萩野谷 浩美	看護実践を展開する過程における具体的なアセスメント方法を学ぶ。系統的に身体を観察・評価する技法を学習すると共に身体内でのどのようなことが起こっているのか考察できる能力を身につける。	看護学類学生に限る。HC30072修得者は履修不可
HC31081	公衆衛生看護学概論	1	2.0	1	秋B 秋C	火3,4 水5,6	4B209	坂田 由美子, 田宮 菜奈子, 山海 知子, 大宮 朋子	公衆衛生看護学の理念と目標を理解し、地域で生活する人々への健康支援における公衆衛生看護学の基本的な概念や特徴を学習する。さらに、地域を基盤とした予防活動の実際と公衆衛生看護が展開される場の特性における看護の役割について理解する。	看護学類生に限る
HC31141	家族看護論	1	1.0	2	秋A	水3,4	共同利用棟 B202	涌水 理恵, 坂田 由美子, 三木 明子	家族及び家族支援に関する諸理論を概説し、看護の対象となる家族の捉え方について学習する。さらに、家族の持っているセルフケア機能をアセスメントし、家族健康支援の具体的手法を理解する。	看護学類生に限る
HC31151	健康教育論	1	1.0	2	秋B	木5,6	共同利用棟 B202	大宮 朋子, 坂田 由美子	健康問題を持つ個人から、共通の問題を抱えている集団やコミュニティまでを対象に、健康に関する知識、健康自己管理能力の向上、行動変容、ライフスタイルの改善のために行う健康教育について、基礎理論から展開プロセス、方法、技法等について総括的に授業する。	看護学類学生に限る
HC32001	成人看護学概論	1	1.0	2	春B	火4,5	4B214	水野 道代	ライフサイクルにおける成人期の位置づけ、ならびに成人期にある人々の身体的・心理的・社会的特徴から、健康の概念を学ぶ。さらに健康問題の解決や健康増進における看護の役割と責任について理解を深める。	看護学類学生に限る
HC32002	成人看護学演習	2	2.0	3	春AB	金2-5	共同利用棟 B202	柴山 大賀, 阿部 吉樹, 笹原 朋代, 山下 美智代	成人期における健康障害や治療によって生じる人間の反応についてアセスメントし、疾病の経過とそれに伴う心理的・社会的側面に考察を加え、人間の総合的理解にもとづいた看護過程を展開する能力を養う。 疾病からの回復過程や転帰の特徴から、「病とともに生活しセルフケアを必要とする人々」「生命危機から脱し、リハビリテーションにより生活の再構築を必要とする人々」「治療効果や病状経過が不確かで治療の影響が大きいがんを患う人々」の看護活動について、講義や演習、紙上事例を用いたグループワークを通して学ぶ。	
HC32141	成人疾病援助論	1	3.0	2	秋A	月・水 5,6 金3,4	共同利用棟 B202	柴山 大賀, 阿部 吉樹, 笹原 朋代, 山下 美智代, 医学医療系教員	患者の身体を統合的に把握するための基礎知識を習得することを目的に、代表的疾患の臨床病態(症状とメカニズム)と治療方法(最新の診断および治療の概要)について理解を深める。また、成人期の人々をモデルとして、健康の現象が生活環境と相互に影響しあひながら生じていることを学び、その反応を理解し捉えるために必要な基礎理論と方法について学習する。特にアセスメント、看護診断、援助計画立案に必要な病態・治療学上の知識や看護学的知識や技能について学習する。	看護学類学生に限る
HC32153	クリティカルケア看護学実習	3	2.0	3	秋BC	集中		笹原 朋代, 柴山 大賀, 阿部 吉樹, 山下 美智代	健康状態の変化が予測される健康危機状態にある人を受け持ち、健康障害とその治療に関する理解を基に、健康状態の回復や健康状態の悪化を予防する看護援助を導き実践し評価する。健康障害や治療により生じる苦痛を理解し、苦痛緩和への援助を検討し実践する。	11/27-12/8, 1/9-2/16
HC32163	セルフケア看護学実習	3	2.0	3	秋AB	集中		阿部 吉樹, 水野 道代, 柴山 大賀, 笹原 朋代, 山下 美智代	病いとともに生きる成人患者をセルフケアの観点から総合的に理解し、看護上の問題解決と援助のための看護過程を展開し、実践する能力を習得する。	看護学類学生に限る 10/2-11/24

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
HC32173	継続ケア看護学実習	3	2.0	3	春季休業中	集中		柴山 大賀, 水野 道代, 阿部 吉樹, 笹原 朋代, 山下 美智代	健康障害を抱えながら家庭や地域社会で生活する対象を理解し、継続的な看護の役割と特性を理解する。外来で行われている医療活動、施設内、施設間、地域との連携における医療専門職の連携と看護の役割について理解する。	3/5-3/16
HC33011	精神看護学概論	1	1.0	1	秋C	木5.6	共同利用棟 B202	森 千鶴	精神看護の基礎となる理論を学ぶとともに精神看護の目的及び看護の役割について学ぶ。	
HC33023	精神看護学実習	3	2.0	3	秋AB	集中		三木 明子, 森 千鶴	精神に障害をもった人に接し、個人の背景や特徴を踏まえた看護過程を展開しながら、臨床場面で精神看護技術を習得する。対象者を理解し、対象者に必要な看護を考え、精神科看護における看護の役割を理解する。	看護学類学生に限る 10/2-11/24
HC33071	精神保健看護方法論	1	2.0	2	秋BC	月3.4	4B101	三木 明子, 森 千鶴	精神の健康問題を抱えている対象の治療と看護アプローチ法を学ぶ。また、精神看護福祉に関する法制度、精神科リハビリテーション、リエゾン精神看護の視点についても学ぶ。	看護学類学生に限る。
HC33082	精神保健看護学演習	2	1.0	3	春AB	木1.2	4B101	森 千鶴, 三木 明子	精神の健康問題を抱えている対象者を理解し、アセスメント方法、生活支援のための具体的な看護方法を学ぶ。またグループワークを通して対象者の生活状況をアセスメントし、健康回復のための援助方法を導く看護過程の展開方法を学ぶ。	看護学類生に限る
HC34001	高齢者看護学概論	1	1.0	1	秋A	火3.4	4B214	松田 ひとみ, 橋爪 祐美, 岡本 紀子	高齢者の加齢に伴う心身機能への影響や社会的な特徴を理解した上で、人権の尊重を基盤にヘルスプロモーションとQOLの向上を意図した看護活動上の課題と役割を学ぶ。	
HC34011	高齢者ヘルスプロモーション論	1	1.0	3	春BC	月3	4B214	橋爪 祐美, 岡本 紀子, 松田 ひとみ	高齢者の健康増進のための生活の諸側面に関する看護活動について、サーカディアンリズムの調整やセルフケアの向上をめざした介入を通して学ぶ。	
HC34041	高齢者看護方法論	1	2.0	3	春BC	月1.2	4B214, 4C202	松田 ひとみ, 橋爪 祐美, 岡本 紀子	高齢者の加齢による心身・社会的な特徴を理解した上で、人間性の回復とヘルスプロモーションを意図した看護活動の実際と役割について、模擬患者との共同意思決定過程を通して学ぶ。	
HC34053	高齢者看護学実習I(対象理解と生活機能評価)	3	2.0	3	夏季休業中	集中		橋爪 祐美, 岡本 紀子, 松田 ひとみ	高齢者ケアを実践するInterdisciplinaryチームの実態を学び、看護活動の意義と役割を理解する。高齢者の健康の諸段階に対応した看護活動を学ぶ。	9/4-9/15
HC34063	高齢者看護学実習II(看護過程)	3	2.0	3	秋AB	集中		橋爪 祐美, 岡本 紀子, 松田 ひとみ	療養生活を維持する高齢者とその家族を対象として、加齢に伴う心身機能の変化と社会的な影響を理解し、人権の尊重を基盤にヒューマン・ケアリングとQOLの向上を意図した看護の役割と活動を学ぶ。	10/2-11/24
HC35001	母性看護学概論	1	1.0	2	春AB	水5	4B209	岡山 久代	母性看護の基礎となる概念について理解する。特に母性看護の役割と対象の特徴を理解し、さらにリプロダクティブ・ヘルス/ライツの意義について学ぶ。	
HC35032	母性看護学演習	2	1.0	3	春BC	木3.4	4B101	川野 亜津子, 岡山 久代	妊娠・分娩・産褥・新生児期にある対象の看護展開をするためのアセスメントと看護の実際について学ぶ。	
HC35033	母性看護学実習	3	2.0	3	秋ABC	集中		岡山 久代, 川野 亜津子	臨床の場において、看護過程を用い母性看護の対象に看護を展開する能力を養う。	看護学類学生に限る 10/2-12/8, 1/9-2/16
HC35201	母性看護方法論	1	2.0	3	春AB	火1.2		川野 亜津子, 岡山 久代	妊娠準備・妊娠・分娩・産褥・新生児といった周産期における対象を看護の視点から理解し、看護展開をするための基礎的な知識について学ぶ。	
HC36001	小児看護学概論	1	1.0	2	春AB	月3	4B209	涌水 理恵	小児看護の対象や基礎となる理念を学び、小児看護についての理解を深める。小児の成長・発達の特徴と小児と家族へ看護の役割について学ぶ。	
HC36011	子どもの健康と障害	1	1.0	2	春C	火・水6	共同利用棟 B202	涌水 理恵	小児期に特有な小児科疾患と小児外科疾患を中心として、子どもの健康が障害された状態やそれによって生起する問題点などを学ぶ。	
HC36033	小児看護学実習	3	2.0	3	秋ABC	集中		涌水 理恵	小児看護学の講義・演習で学んだ知識や技術を統合・活用し、臨床場面において疾病や障害によって引き起こされた健康障害をもつ子どもとその家族に対する看護を実習する。	看護学類学生に限る。 10/2-12/8, 1/9-2/19
HC36081	子どもの健康と障害	1	1.0	3	春C	随時	共同利用棟 B202	涌水 理恵	小児期に特有な小児科疾患と小児外科疾患を中心として、子どもの健康が障害された状態やそれによって生起する問題点などを学ぶ。	看護学類生に限る。編入生用。
HC36082	小児看護学演習	2	2.0	3	春A 春B 春C	火3.4 火3-5 火2-4	共同利用棟 B202 4B205	涌水 理恵	様々な健康障害を持つ子どもとその家族に対して、成長発達や家族の視点、健康障害を持つ子どもが必要とする日常生活援助などの学びを統合し、健康障害を持つ子どもと家族の看護について学ぶ。また、必要な看護援助と欠かすことの出来ない遊びを完全かつ安全に実施する技法を身につける。および、看護過程の展開に関して症状のアセスメント、問題の抽出、看護計画の立案について具体的疾患事例を通して学ぶ。	
HC37003	総合実習	3	2.0	4	春C	集中		看護学類全教員	看護に関連する領域を学生自身の関心によって選択し、それぞれの場所(病院、関連施設など)で実習を行う。この実習における看護の展開過程を通して、看護学の理念、知識、方法の統合をはかる。	看護学類学生に限る 7/3-7/31

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
HC38001	研究方法概論	1	1.0	3	春AB	木5	4B209	森 千鶴	看護学的視点から研究についての概説と研究の手法、学術論文の構成、評価および倫理的な進め方について学ぶ。	看護学類学生に限る
HC38042	応用看護学演習	2	1.0	4	秋A	集中		浅野美礼ほか看護学類教員	領域別看護実習を修了した段階における知識・実践能力を確認する。Internet Based Testing:IBTにおいては過去3年間にわたる看護学類の授業で学んだ知識の修得度を評価し、客観的臨床能力試験:OSCEでは技能・態度の達成度について評価する。その結果をもとに、各自は総合実習に向けた自己の学習課題を明らかにする。	看護学類生に限る
HC38051	コミュニティ・エンパワメント論	1	1.0	3	春B	水1,2	4B214	安梅 勅江	コミュニティ・エンパワメントの理論について学習するとともに、具体的な事例を通じた演習を通じて、ケア実践に活用するための技術を取得する。	
HC38052	医療チーム連携演習	2	1.0	4	秋B	集中		安梅勅江ほか看護学類教員	チュートリアルの学習方法で、オリエンテーション・コアタイム・グループワーク・自己学習・全体討論で構成する。グループで専門領域事例の中から1事例を検討する。ケア、多職種連携、エンパワメントを踏まえた多角的な生活者支援の視点を学習する。	看護学類生に限る
HC38131	看護科学と社会	1	1.0	2	秋BC	水5	共同利用棟B202	徳田 克己, 川口孝泰, 安梅 勅江	看護科学が社会の中でどのような役割を担っているのか、この学問を学び、分野に応じた専門性を身につけることで、どのような社会貢献ができるようになるのかについて理解を深める。	2017年度開講せず GDP GDP(学問と社会)
HC38151	国際保健学	1	1.0	3	春C	水1,2	4B214	安梅 勅江	国際的なヘルスプロモーションの事例を検討する中から、エンパワメントの技法を用いた国際保健学の理論と技術、今後の展開方策について学習する。	HE33101と同一。
HC38161	在宅看護論	1	2.0	3	春A	月1-4	4B214	伊藤 智子	在宅看護活動の歴史、背景を理解した上で、その仕組みと特性、看護師の役割について学修する。また、具体的事例の展開を通じて、在宅における療養者・家族、生活環境の多様性を知るとともに、対象の総合的理解に基づいた看護過程を展開する能力を養う。	
HC38163	在宅看護論実習	3	2.0	3	秋BC	集中		伊藤 智子	茨城県内の訪問看護ステーションでの実習を通じて、疾病や障害を持ちながら在宅で生活する療養者とその家族の健康状態および生活環境を総合的にアセスメントし、対象にあった在宅看護を展開する能力を修得する。訪問看護に関わる法律や制度および各関係職種・各機関との連携・協働について理解し、ディスカッションを通じて、在宅ケアチームの一員として看護の専門性について考察する。	11/27-12/8, 1/9-2/16
HC40001	看護学の探究概説	1	2.0	4	春A	集中		森 千鶴, 安梅 勅江, 徳田 克己, 日高 紀久江, 松田 ひとみ, 水野 道代, 岡山 久代, 涌水 理恵	看護学の専門領域についてこれまでに学習した看護学の理論、方法論を活用し、様々な看護の場、または様々な健康のレベルにある対象者を理解し、看護の専門性を追求する。これまでの学習してきたことを統合して自己の看護に対する考えを深める。	看護学類生に限る
HC40002	国際看護学演習	2	4.0	4	春C秋ABC	随時		安梅 勅江, 杉本敬子, トゴバタラガンチメゲ, 福澤利江子	グローバルな視点から、健康問題に関する背景とその課題についての理解を深め、それに対する保健活動ならびに看護の役割と実践活動について考える。	看護学類生に限る
HC40012	看護人間工学	2	4.0	4	春C秋ABC	随時		日高 紀久江, 浅野美礼, 升 秀夫, 萩野谷 浩美	看護の対象に対して安全、安楽、安心をもたらすための道具や機器、および仕組みに関するものづくりの基礎となる知識について演習を通して学ぶ。	看護学類生に限る
HC40022	子どもの健康支援学演習	2	4.0	4	春C秋ABC	随時		涌水 理恵, 徳田 克己, 水野 智美	家庭以外で、子どもが生活をする様々な場における子どもと看護職の関わりを学び、子どもとその家族を中心とした医療職の連携の現状や望ましいあり方を学び、自らの考えをまとめる。	看護学類生に限る
HC40032	看護実践・ケアシステム開発学演習	2	4.0	4	春C秋ABC	随時		柴山 大賀, 水野道代, 笹原 朋代, 阿部 吉樹, 山下美智代, 伊藤 智子	学生の関心のあるテーマに応じてグループを作り、文献学習や討議を通して、病いを持つ対象への看護実践を、あらゆる経過(急性期、慢性期、回復期、終末期)や療養の場(入院・外来・在宅)での一連の流れの中でとらえる能力を養う。さらに、個別の看護実践にとどまらず、システムとしての看護ケアという観点から、社会の中での看護のあり方について学ぶ。	看護学類生に限る
HC40042	女性の健康支援学演習	2	4.0	4	春C秋ABC	随時		岡山 久代, 川野 亜津子	女性のライフサイクル各期における女性特有の健康問題や課題の1つを取り上げ、対象の理解を深める。さらに、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から、女性の健康を守り、支援する社会制度や看護・医療のあり方について考える。	看護学類生に限る
HC40052	高齢者ヘルスプロモーション演習	2	4.0	4	春C秋ABC	随時		橋爪 祐美, 岡本 紀子, 松田 ひとみ	高齢者とその家族を対象として、加齢に伴う心身機能の変化と社会的な影響および人権の尊重を基盤にヘルスプロモーションやQOLの向上を意図した看護の役割と活動の実際から、研究上の課題を明らかにする。また、焦点化した課題に対して、系統的に科学的な手法を用いて解決していく過程を学ぶ。	看護学類生に限る

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
HC40062	精神の健康・障害支援学演習	2	4.0	4	春C秋ABC	随時		森 千鶴, 三木 明子	精神看護学の専門領域についてこれまでに学習した看護学の理論、方法論を活用し、様々な看護の場、または様々な健康のレベルにある対象者を理解し、看護の専門性を追究する。また、これまでの学習と本演習を統合して自己の看護に対する考えを深め、レポートにまとめる。	看護学類生に限る
HC41001	公衆衛生看護活動論	1	2.0	3	秋BC	水3,4	共同利用棟 B202	大宮 朋子, 坂田 由美子, 田宮 菜奈子	地域住民の健康づくりや疾病予防活動を中心に、公衆衛生看護活動の展開技術、個人・家族・集団・地域への支援方法、対象別公衆衛生看護活動について学習し公衆衛生看護活動の基本を理解する。	看護学類保健師選択学生に限る
HC41003	公衆衛生看護学実習	3	3.0	4	春ABC	集中		坂田 由美子, 大宮 朋子, 山海 知子, 田宮 菜奈子	茨城県内の保健所および市町村保健センターでの実習を通して、保健所および保健センターの機能、公衆衛生看護の担い手である保健師の役割を学ぶとともに保健師に必要な技法等を得させる。	看護学類保健師選択学生に限る 5/8-7/14
HC41011	学校保健	1	1.0	2	秋C	木5,6	4B101	坂田 由美子, 田宮 菜奈子, 大宮 朋子	学校教育の一環としての学校保健の特徴を理解し、成長発達段階にある児童生徒の特性に応じた看護活動のあり方や学校保健安全計画立案時の養護教諭の役割について学習する。また、養護教諭に必要な基本的知識と技術を学ぶ。	看護学類保健師選択学生及び養護教諭選択学生に限る
HC41021	産業保健	1	1.0	2	秋C	火5,6	4B101	山海 知子, 坂田 由美子, 田宮 菜奈子, 三木 明子	複雑多様化した労働形態と労働者の健康について理解し健康問題の現状を把握する。そして、現代の産業保健における看護職の機能と役割、活動の実践について学習する。	看護学類保健師選択学生に限る
HC41031	公衆衛生看護活動方法論	1	4.0	4	春A	集中		大宮 朋子, 田宮 菜奈子	地域で生活している個人および集団、コミュニティの健康を護り、支援する公衆衛生看護活動方法について教授する。公衆衛生看護活動過程、個および集団へのアプローチ方法としての活動手段の理論、技法等を実践的教育方法にて授業する。地域診断方法、地域保健活動計画の策定方法、家庭訪問、健康相談、健康教育の活動方法の各技法等を得させる。	看護学類保健師選択学生に限る
HC41041	公衆衛生看護管理論	1	1.0	4	秋AB	集中		坂田 由美子, 大宮 朋子 他	公衆衛生看護管理の理念と目的、公衆衛生看護管理の仕組み、公衆衛生看護管理の具体的な対象である、組織・人材、社会資源管理、情報管理、予算管理、事業評価そしてリスクマネジメントおよび健康危機管理等の現状と方法について教授する。	看護学類保健師選択学生に限る
HC41051	公衆衛生看護学応用論	1	2.0	4	秋AB	随時		田宮 菜奈子, 坂田 由美子, 山海 知子	公衆衛生看護学の理念と目的を理解し、保健・医療・福祉及び社会に関する最新の知識・技術を基盤にして、社会情勢と地域の健康課題に応じた公衆衛生看護活動の実践能力を向上させるための方法について学ぶ。さらに公衆衛生看護学の今後の展望について考察する。	看護学類保健師選択学生に限る
HC42001	養護概説	1	1.0	3	春A	集中		水野智美、非常勤講師	複雑多様化した児童生徒の健康の実態を通して養護教諭の行う学校保健活動を理解するとともに、児童生徒のヘルスプロモーションにおける養護教諭の役割について学習する。さらに児童生徒の発達課題に応じた養護教諭の健康支援の実践について学習する。	養護教諭課程選択履修生に限る
HC90001	Japan-Expert総論	1	1.0	1	春ABC	水5		杉本 敬子 他	筑波大学のエキスパートから、日本が世界に誇る専門分野の概要を学ぶことで、グローバル人材となるための知識と見識を深める。	Japan-Expert入学者対象